

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		大和体育館管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020402000082
						単独/補助	単独		090501
政策体系	総合計画の施策名		O204 生涯スポーツ活動の振興				所属課		スポーツ振興課
	政策名		02 生きがいや学びのまちづくり				課長名		
	施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				グループ		スポーツ振興G
	手段名		02 ②快適な施設利用の推進				担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	02	11	00	単年度繰返し (昭和58 年度~)		
法令根拠						桜川市体育施設設置及び管理に関する条例			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						→ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	所在 桜川市羽田1028-1 延床面積 1,672㎡ (体育館・卓球場) ハレーボール・バスケットボール・バトミントン・卓球等 桜川市が管理運営する体育館であるが、平成28年11月より、大和中学校体育館が老朽化のため使用禁止となり、大和中学校が優先的に利用することとなった。管理については、学校教育課が主管となったが、中学校が利用しない時間 (夜間等) については、一般の方が利用できる。 体育館の利用にあたっては、利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で使用することが出来る。利用者からは減免に該当しない団体においては使用料金を徴収している。夜間スポーツ活動団体が利用する場合は午後9時30分までに退室し、その後夜間管理人に施設の施錠を依頼している。		施設の維持管理、委託契約の締結、使用申請の受付、使用許可書の発行、使用日程の調整、使用料の徴収	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
使用申請の受付、使用許可書の発行、使用日程の調整、使用料の徴収	使用可能日数	日	285.00	247.00	309.00	309.00	309.00
	使用申請受付数	回	200.00	232.00	280.00	280.00	280.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
桜川市民	桜川市人口(常住人口)	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市民が大和体育館を使用してスポーツを楽しむことができる。	利用者数	人	93,070.00	2,772.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	93	84	88	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	-93	-84	392	0
		事業費計 (A)	千円	0	0	480	0
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)			
				07 報償費	480		
			合計	0		合計	480

事務事業名	大和体育館管理運営事業	事務事業No.	20402000082	所属課	スポーツ振興課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 旧大和村で昭和58年9月に大和体育館を建設したことに伴い、施設の管理運営が開始された。平成28年11月より、大和中学校体育館が老朽化のため利用禁止となり、大和中学校が優先利用となる。管理は学校教育課に移管された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民がスポーツを楽しむことで、「生涯スポーツ活動の推進」「市民がスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活ができる」に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民が施設を利用できることは、スポーツを楽しむ機会と体づくりと健康増進につながる。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 大和中学校が優先的に利用することになり、一般開放は夜間のみとなり利用者の増加は見込めない。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 学校教育・生涯スポーツ活動に影響を与える。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 学校教育・生涯スポーツ活動に影響を与えるので余地はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 夜間開放に係る利用申請受付・利用調整に係る業務への人件費の削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 一般開放しており、使用料を徴収している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成30年11月から中学校が優先的に使用することになり、休日・祝日の利用がスポーツ少年団や一般の団体が利用できなくなりました。(大会等開催できなくなった。)																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	X																	
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	④																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A : 継続 (現状維持) C : 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B : 継続 (改革改善を行う) D : 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	